キセキ信越　魚沼（営）新設記念展示会

明日の農業を発信

大型整備センターも併設

山路社長

キセキ信越（山路一隆社長）が、かねてより建設していた「ISEKI魚沼営業所」（南魚沼市大字寺尾字熊野堂1199―1）が完成、8月8日に竣工式を終え、8月28日（金）、29日（土）の2日間、新営業所の披露も兼ねて新設オープン記念展示会を開催した。期間中は、天候にも恵まれ、動員、受注とも順調に伸び、来場者数は751名に達した。

新営業所は米どころの魚沼地方のほぼ中央に位置し、敷地面積が約3000㎡、敷地内に六日町営業所と小出営業所を統合した「魚沼営業所」を構え、魚沼地区の重整備・修理を担う大型整備センターを併設した「農業と農業機械のプロショップ」となっている。

六日町営業所と小出営業所が手狭で設備も老朽化したことから、魚沼市と南魚沼市の両エリアをカバーする拠点として設立した。併設の整備工場は、大型整備工場としての認定の対象となる100坪以上をクリアした125坪となっている。

新営業所は、約100坪で、採光を大きく取った明るく広いショールームとなっている。また、屋根と駐車場には融雪装置を備え、冬場の営業にも万全の構えをしている。

所員は、中澤淳所長以下11名。地区部長にサービス4名、セールス5名、事務1名となっている。売り上げは、合併後年間4億を目標とする。

今回、オープン記念企画として、①コイン精米機で30kgの精米を10円で提供②女性客にチューリップの球根のつかみ取り③軽食コーナーで豚汁、おにぎり、ところてん、ソフトドリンクなどの提供④玄米の無料食味測定⑤期間中10万円以上の成約で記念品進呈、など盛り沢山の特典を用意。早朝から多数の農家が来場した。

会場内には、トラクタ12台、田植え機5台、コンバイン11台を展示。その他、作業機メーカー、資材メーカーなど協賛メーカー34社が参加。魚沼地区に特化した厳選機を多数揃え、オープン記念の特別価格でPRした。

また、9月からの排ガス3次規制の対象となる20～50馬力帯の対象トラクタ、コンバインに加え、排ガス規制対象となる25馬力以上の大型除雪機も多数展示して、「価格アップ前のラストチャンス」ということで、在庫一掃セールを展開した。今回、農作業や農機の管理をスマートフォンやタブレットなどの携帯端末を通じて行う「アグリサポート」システムに対応したトラクタ「TJV703」などを展示、若い担い手農家を中心に関心を引いていた。

また、コンバインでは、90周年スペシャル機の4条刈「HFG435」（35馬力）、3条刈「HFG335」（35馬力）や新潟セレクション機の4条刈「HFG447」（47馬力）が特別価格で展示された。

29日には、井関農機本社から菊池昭夫専務執行役員営業本部長も応援に駆けつけた。

【山路社長談】魚沼営業所は、8月8日に竣工式を迎えた。正面には霊峰八海山を望み、八八八と大変縁起の良い数字となっている。今、農家の方々のマインドはいまいち盛り上がってはいないけれど、我々キセキの「元気ある明日の農業をこの新しい営業所たちスタートさせるぞ」という気概を感じて頂き、農家の皆様の励みになっていただければと願っている。

新設された魚沼営業所の外観

「アグリサポート」に興味津々

フレコンメイト好評

低コストで作業が効率化

タイガーカワシマ

川島社長

タイガーカワシマ＝川島昭光社長、群馬県邑楽郡板倉町大字籾谷2876＝は、今年5月、作業場の高さが3mあれば設置可能なコンパクトなフレコン自動計量機『フレコンメイト』に「オートサンプルモデル」と「はかりなしタイプ」をラインナップに加えた。ニーズに合わせた商品構成で、「コスト削減に貢献し作業が効率化する」と好評を博している。

一般的なフレコン計量機は上部に大きなタンクを備えているため、設置するためには高さのある作業場が必要となり、専用の作業場の新設や改築などで余分なコストがかかることがネックとなっていた。

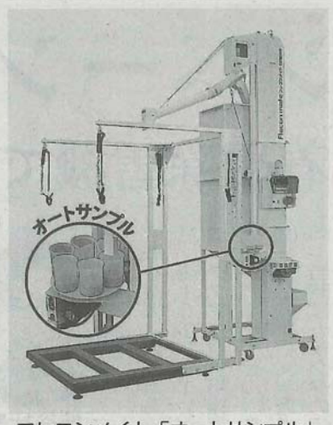
タイガーカワシマの「フレコンメイト（標準タイプ）」は縦型貯留タンクを採用したことで昇降機から直接、フレコンバッグに投入する計量体系を可能にし、昇降機部分を入れた全高2・85m、タンクやフレコンホルダーは2m程度とコンパクトなフレコン自動計量機を実現。斜めになった軒下にも設置でき「コスト削減になる」と好評だ。

5月に発売した「フレコンメイト オートサンプルモデル（FS―1200S）」は、サンプル採取機能が付き、採取間隔と排出時間を設定すると、自動でサンプルを採取。採取後、自動でテーブルが回転し次のカップへ移動する他にも使い易さやレイアウト自在、といった特長をもつ。

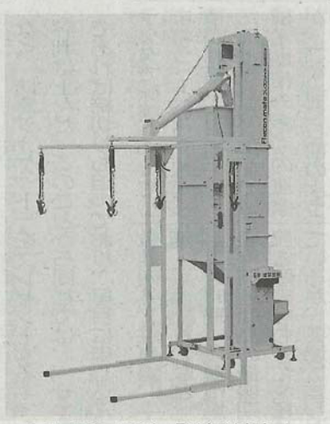
「フレコンメイト はかりなし（FS―1200H）」は、計量機をなくし、フレコンの袋詰めだけを行う場合に最適な製品。既に1tはかりを持っていれば、組み合わせて手動の計量機としても使える。ユーザーからは、「袋詰め作業を止めずに、効率的な作業が行える」と好評となっている。

【フレコンメイト オートサンプルモデル概要】▽型式＝FS―1200S▽小売価格＝110万円（税別）▽最大処理能力＝1800～2400kg／時（30～40俵）▽全長×全幅×全高＝880×910×2850㎜▽タンク容量＝300kg▽本体使用電源＝三相200V▽はかり使用電源＝100Vひょう量＝1200kg▽軽量精度＝±0・5kg※検定付き・プリンタ付きはかり仕様も取揃え。

【フレコンメイト はかりなし概要】▽型式＝FS―1200H▽小売価格＝55万円（税別）▽最大処理能力＝1800～2400kg／時（30～40俵）▽全長×全幅×全高＝880×910×2850㎜▽タンク容量＝300kg▽本体使用電源＝三相200V。



フレコンメイト「オートサンプル」


フレコンメイト「はかりなし」

機構改革・人事異動

井関農機　中国事業の体制強化

井関農機は8月28日、機構改革と人事異動を決定した。

《組織変更》中国事業の推進拡大に向けた体制強化を図るため、海外営業本部内に「中国業務推進部」を設置する。また、「中国駐在員事務所」を設立する。なお、「中国駐在員事務所」及び「中国推進室」は「中国業務推進部」の下に置く組織とする。9月1日から実施。

《幹部人事》（9月1日付）▽三澤寛＝海外営業本部 中国業務推進部長兼中国駐在員事務所長（同、中国駐在員事務所設立準備室長兼東風井関農業機械有限公司経営管理総部副総部長）括弧内は旧職。敬称略。

燃費性能更に向上

ミニショベル3機種新発売

日立建機

ZX55UR―5B

辻本社長

日立建機＝東京都文京区後楽2―5―1＝は、超小旋回型新型ミニショベルを新発売した。発売日立建機（辻本雄一社長）は、超小旋回型新型ミニショベル3機種を新発売した。従来機をモデルチェンジしたもので、ZX―U―5Aシリーズで好評を得ているユーザーフレンドリーなミニショベルの3本の柱である①優れた作業性・操作性②快適な居住性③容易な整備性を加えた新型モデル。販売目標は、国内向けに年間1200台を見込んでいる。

【優れた作業性・操作性】①電子制御式新エンジンの採用などで、従来機と比べ10％を超える燃費量低減を実現（ZX30UR―5B：16％、同40UR―5B：14％、同55UR―5B：16％）②「オートアイドル機能」装備のほか、環境に配慮した「オートアイドリングストップ機能」をオプション設定できる③作業に応じて選択可能なPWR（パワー）モード、ECO（エコノミー）モードの2つの作業モードを搭載④ブーム上げの高さを制限できる機能「高さ制限停止システム」を装備⑤走行速度切替えスイッチをブレードレバーに装備し、スムーズな変速操作を実現⑥オプション設定のMLクレーン仕様機に「つり荷走行モード」を搭載⑦オプション設定の4Wayマルチレバー（確認窓、施錠可能カバー付）の位置を運転席下に配置している。

【快適な居住性】①キャノピ石パネルの形状変更により右側視界性を向上。（ZX30UR―5B、同40UR―5B）②3・6インチ大型マルチ液晶モニタを採用③キャブ仕様機では外気導入機能付きエアコン採用（オプション）。ZX55UR―5Bのみ、吹き出し口をシート後方にも配置している。

【容易な整備性】①チルトアップフロアを採用し、スムーズなサービス作業を実現②上下スライド式エンジンカバーおよびワンタッチで開くラジエータカバーの採用で、車体後方からのメンテナンスが容易に③冷却装置（ラジエータ、オイルクーラ）を並列配置し、清掃性と冷却性を向上している。

【環境性能】①3機種とも「国土交通省超低騒音型建設機械」（指定申請中）②ZX55UR―5B は、特定特殊自動車（オフロード法）排出ガス2014年基準に適合③ZX30UR―5B、同40UR―5B は、排出ガス対策型建設機械3次基準に適合（指定申請中）。

小回り性能と掘削力で狭い現場での作業に威力を発揮するミニショベル。この新型機は、さらに乗り心地や使いやすさも抜群の仕様になっている。

標準小売価格（税抜）は、ZX30UR―5B＝505万円、ZX40UR同＝625万円、ZX55UR同＝765万円。

フジイ

親子でお仕事体験

地元の小学生5組が参加

藤井社長

フジイコーポレーション＝藤井大介社長、新潟県燕市小池285＝は、8月25日（火）に小学生の親子を対象にお仕事体験研修「うわ～きっず」を開催した。参加したのは、燕市と長岡市の親子5組で、除雪機の組み立て、塗装など物づくりの軽作業を体験した。当日は、報道関係5社が取材に訪れ、NHKのお昼のニュースで紹介されるなど話題を呼んだ。

新潟の除雪機メーカーであるフジイコーポレーションは、企業の社会貢献活動に力を注いでいるが、今回、初めての試みとして「うわ～きっず」を開催した。「うわ～きっず」は、同社が主催、燕市が後援するお仕事体験研修で、親子で同社の工場でものづくり体験をしてもらい、お仕事の報酬として「うわ～きっずコイン」がもらえるというもの。「うわ～きっずコイン」は、同研修内だけで使用する架空の通貨で、参加者は、体験後、「うわ～きっずコイン」でお弁当、飲み物やデザート等を購入することができる。実際に報酬を得ることで、仕事の大変さや大切さを体験してもらう研修となっている。

今回、同社では、小学校3年生～6年生までの親子5組を募集したところ、定員数を上回る応募があったため、抽選を行った。その結果、燕市と長岡市に住む男の子2人、女の子3人の親子5組が当選した。

台車で部品を搬送する女の子

ベテラン社員が手取り足取り

入社式では、同社機械事業営業部の高橋敏之課長、燕市商工振興課の遠藤一真課長補佐が挨拶に立ち、同社の事業内容の説明や当日のスケジュールや仕事をする上でのルール説明を行った。その後、担当する職場をくじ引きで決めた。

今回、参加者が体験した職場は、次のとおり。①マテハン（2名）＝除雪機の部品の収集、台車での搬送作業②塗装（1名）＝マスキング③サブ組（1名）④小型機組み立て（1名）。

入社式後、参加者全員が同社が用意したつなぎ、安全靴、帽子に着替えて工場見学を行ない、親子が1組になって、1時間程度、お仕事を体験した。職場では、複数の社員が付き、手取り足取り丁寧に指導。参加した子どもは、初めて体験する除雪機の組み立てや塗装作業に興味津々。眼を輝かせて作業に取り組んでいた。

お仕事後は、お給料として、一人1500円相当の「うわ～きっずコイン」が支払われ、お昼のお弁当、飲み物、デザートやお土産を購入してもらった。午後からの退社式では、終了証が授与され、アンケートの記入が行われた。今回、サプライズで子どもたちに同社の高所作業機に乗って緑化事業として育てていたメロンの収穫を行ってもらった。

今回、参加した子どもは、「（作業は）難しかったけど面白かった。また参加したい」、保護者は、「本格的な体験をさせてもらった、子どもの夏休みのいい思い出ができた」など大好評だった。

訂正　本紙8月31日号9面フジイコーポレーションの記事中の特長⑧「アシスト付きレバーにより軽い力で操作可能」とあるのは、従来型式の特長で間違いにつき訂正いたします。

JA全農

ライスミルクを発売

JA全農は、10月からライスミルクを発売する。

原料は国産米100％使用し、砂糖は使わず、米の自然の甘みを活かし、飲みやすく仕上げた。

独自配合した米胚芽油には玄米の機能成分である「γ―オリザノール」を含み、お米のビタミンとも称される「イノシトール」を加え、玄米に含まれる成分も補給でき健康維持をサポート。

1本でコンビニおにぎりの約1／3のお米を使用しているので、時間がない人でも手軽に、健康的にお米の栄養分を毎日無理なく摂取できる。

JA全農は、主食としてのお米に加え、飲むお米の食品原料としても米利用・需要拡大を行い、今後も積極的に米の消費拡大を促進していく。

「お米のミルク」

【概要】▽商品名＝全農 国産米使用 お米のミルク▽希望小売価格＝158円（税抜）▽容量＝125㎖▽発売時期＝10月5日からJAグループ向け出荷開始予定（11月から一般向け販売予定）▽取扱店舗＝全国のAコープ、JA、JAタウン（予定）。

永田製作所

噴霧の飛距離アップ

簡単操作のノズル4種類

永田製作所＝田中寿和社長、大阪市淀川区千舟1―5―41＝は、空気の吸い込み量がアップ（ビッグフード効果）し、霧を大量に遠くまで飛ばす噴霧用ノズル「ビッグフードシリーズ」の拡販に注力している。

同シリーズは、今年6月発売のロングタイプ「霧風ロング（2タイプ）」、今春発売した噴口タイプのメガフルコン「霧密ちゃん」、昨年発売したピストルタイプの「霧長くん」の4種類。

1番のポイントは、ビッグフード効果で噴霧の霧が密になり、飛距離が格段にアップしたこと。

用途は、果樹全般、平面野菜、立木野菜、ハウス、園芸等幅広い。

【霧風ロング】噴霧状態は、手元切替えで直噴・充円錐・空円錐に調節できる。手元の噴霧切替えはエンドレスに回転。霧の到達力がアップ。本体長さ1000㎜・重量620gと、1300㎜・重量720gの2種類。噴口径は2㎜。

【霧密ちゃん】クワトロ（4口）ノズルの改良版で、同等以上の充円錐を噴出。噴板フルコーンのため部品点数が少なく軽量。全長98㎜、重量126g。噴板径は2㎜。

【霧長くん】遠距離ピストルタイプで最軽量。つまみの調節で、直射から円錐まで自由に調節。葉裏まで防除が可能。全長260㎜、重量435g。噴口径は2㎜。

問合せ電話06―6473―0835。

ビッグフードシリーズ「霧密ちゃん」

松元機工

優れた走破性を発揮

乗用型枝豆収穫機が好評

乗用型枝豆収穫機MCBH11

松元機工＝鹿児島県南九州市頴娃町牧之内＝の乗用型枝豆収穫機MCBH11が、「厳しい条件下でも優れた走破性を発揮し力強く安定した走りで仕事をこなす」と評判をよんでいる。

《特長》①畑の保護をテーマに開発したクローラーは畝間を踏み固めることがない②独特のスいテアリング、ハンドルで左右、前後とも常に安定した操縦ができ、小廻りのきく特殊設計で旋回はおもいのまま。レバー類は運転席周囲にまとめ、腰かけた状態で操作できる。

《仕様》▽出力＝ディーゼル41・5ps▽全長×全幅×高さ＝5250×2100×2920㎜▽重量＝3600kg▽軌間＝1200㎜▽収穫幅＝1600㎜▽能率＝毎時10a。

マルタカ

米袋各種・真空包装機

秋の新作キャンペーン

真空合掌貼り平袋

マルタカ＝山澄隆志社長、大阪市中央区鎗屋町1―1―7＝は、収穫期を迎えた新米用に新作米袋を発売。新作米袋発売に合わせた「秋のキャンペーン」を、8月24日～11月30日まで実施する。

新作米袋は、少量販売・お試しパックに便利な食べ切りサイズの真空合掌貼り平袋300g用に、各種の県産・銘柄をデザインした。封筒をイメージした袋サイズは横110×縦260各㎜。袋の材質は和紙とラミネートの2種類。

他のキャンペーン商品は、ハサミがいらない開封タグ付きチャック袋。立てても寝かせても使えるスマートチャック袋。真空包装用米袋。縦用・横用の持ち手が付いた持ち手付き米袋等。

キャンペーン内容は①米袋全商品価格を通常より割引価格で販売②後刷り印刷になる店名・バーコード印刷の墨版代金が無料③1万円以上購入で送料無料④すでにキャンペーン中の新米袋も期間を延長⑤真空包装機「パックフォーマー」と各種成型ケースもキャンペーン対象商品＝等。

問合わせ電話0120―141―296。